

本号の内容は、学校教育指導（一次訪問）で見られた、各学校の端末活用にかかわる事例紹介と情報活用能力体系表【釧路市版 第1版】の活用についてです。

★各校での端末活用の様子★

学校教育指導（一次訪問）では、様々な端末活用場面が見られました。



👉小学校3年生道徳科の導入でロイロノートの思考ツールを活用し、本時のテーマや取り上げる価値にかかわる経験を交流させ、自我関与の意識をもたせていました。児童が教材への興味や関心を高めていく姿が見られました。

👉小学校5年生算数科の授業の振り返りに「Google ドキュメント」が活用されていました。振り返りシートの配布・回収の必要がなく、提出状況も簡単に確認できます。児童が自分の考えを何度も修正しながら、自分の学びを振り返っている姿も見られました。

👉小学校4年生算数科の考えを交流する場面でロイロノートが活用されていました。考えを書いたノートを写して提示するのか、考えをカードに打ち込むのか、表現の方法は児童が発表内容に応じて選択していました。自発的にロイロノートを活用している姿から、児童自身が交流における端末の有用感を感じている様子が伝わってきました。



環境の工夫も

湖畔小学校では、児童が端末を使いたい時に、すぐ取り出して使えるよう、机の横のフックに端末収納用のボックスを設置していました。

★情報活用能力体系表【釧路市版 第1版】の活用★

学習指導要領の総則では、学習の基盤となる資質・能力として、「言語能力」「問題発見・解決能力」と並び、「情報活用能力」が明記されました。また、学習指導要領解説では、これを確実に育てていくためには、各教科等の特質に応じて適切な場面で育成を図ることが重要とされ、意図的・計画的な育成が求められているところです。児童生徒にタブレット端末が配布され今年度で3年目となりますが、今後、更にテクノロジーが進展する中で、デジタルを使いこなす児童生徒を育成していくことの重要性が指摘されています。各学校においては、「情報活用能力体系表【釧路市版 第1版】」(3月16日付け事務連絡)を活用し、自校の児童生徒の状況を把握して、指導の改善・充実に活用していただければと思います。

要素	分類		小学校低学年	小学校中学年
	資質・能力	学習内容		
情報活用能力	情報活用する力	知1	見出し・計画	目的を定めて、情報活用を見通しを立てることができる。
		知2	情報活用した問題の発見・解決等の方法	身近なところから情報を収集することができる。
		知3	整理のしかた	図や図、簡単な表等を用いて情報を整理することができる。
		知4	取扱選択	問題解決に役立つ情報を選ぶことができる。
		知5	情報の読み取り	一つの資料から観点を捉えて情報を読み取ることができる。
		知6	情報を客観的に捉え、整理・分析・判断する力(批判的思考)	複数の事実や根拠に基づき、適切に分析・判断することができる。
学びに向かう力・人間性等	情報活用する態度	思1	情報活用する力	複数の事実や根拠に基づき、適切に分析・判断することができる。
		思2	情報活用する力	複数の事実や根拠に基づき、適切に分析・判断することができる。
		思3	情報活用する力	複数の事実や根拠に基づき、適切に分析・判断することができる。
		思4	情報活用する力	複数の事実や根拠に基づき、適切に分析・判断することができる。
		思5	情報活用する力	複数の事実や根拠に基づき、適切に分析・判断することができる。
		思6	情報活用する力	複数の事実や根拠に基づき、適切に分析・判断することができる。
学びに向かう力・人間性等	情報活用する態度	学1	主体的に情報を検討しようとする態度	多角的に関係する情報を集めようとする。
		学2	主体的に情報を検討しようとする態度	多角的に関係する情報を集めようとする。
		学3	主体的に情報を検討しようとする態度	多角的に関係する情報を集めようとする。
		学4	主体的に情報を検討しようとする態度	多角的に関係する情報を集めようとする。
		学5	主体的に情報を検討しようとする態度	多角的に関係する情報を集めようとする。
		学6	主体的に情報を検討しようとする態度	多角的に関係する情報を集めようとする。

※「情報活用能力体系表【釧路市版 第1版】」より一部抜粋

表【釧路市版 第1版】(3月16日付け事務連絡)を活用し、自校の児童生徒の状況を把握して、指導の改善・充実に活用していただければと思います。

※「情報活用能力体系表【釧路市版 第1版】」

はこちらから→

